（1）バスメールサービスの効果 ～ﾊﾞｽ利用者・道路管理者・ﾊﾞｽ事業者～

ﾊﾞｽ利用者はﾊﾞｽの利便性向上、道路管理者は公共交通利用促進による交通円滑化、バス事業者は運行管理の効率化が図れます

（バス利用者のメリット） バスメールや位置情報入手により、バス利用の利便性が向上します。
（道路管理者のメリット） バス利用促進によるマイカー削減により、交通円滑化が図れます。
（バス事業者のメリット） バスの位置情報の把握により、バスの運行管理の効率化が図れます。

『ﾊﾞｽ利便性向上』により、**マイカーからバス利用へ交通転換**が図られる。

【バス利用者のメリット】

○バス待ちのイライラ軽減。（遅延情報に対応）

○バス待ち時間の短縮。（雨や雪の日などは暖かい部屋の中で待つことが可能）

○バスの利便性向上。（UDの一環として、どんな方にでも時間に余裕が持てる）

【道路管理者のメリット】

○マイカーから公共交通機関の利用促進により、道路交通渋滞の緩和。

○情報システムにより、道路ストックの有効活用による道路交通円滑化の実現。

【バス事業者のメリット】

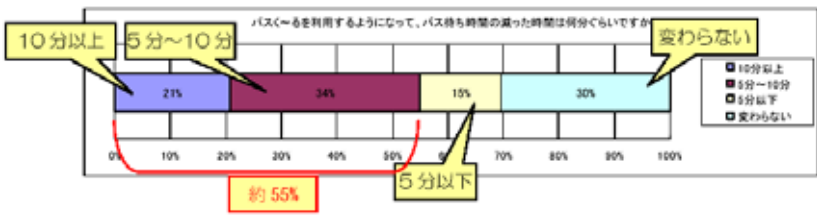
○リアルタイムなバス運行情報の入手。○遅延発生時などの迅速な対応が可能。

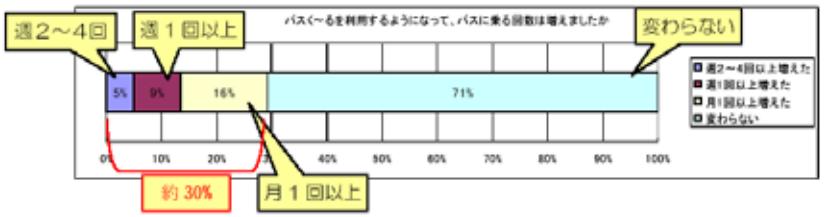
○バス運行管理の効率化。　　○事故発生等の対応の迅速化。

【効果】
・バスの利便性向上によりマイカーからバス利用へ交通手段の転換が図られる
→TDM施策の一環

○他都市の導入事例
（ﾊﾞｽﾒｰﾙ利用者数）
金沢市：125路線（252台に設置）
2.7万人／日利用(H17.3)
福岡市：47路線（1500台に設置）
0.7万人／日利用(H17.4)
京都市：143路線（755台の99%に設置）

（参考）携帯によるﾊﾞｽﾛｹｰｼｮﾝｼｽﾃﾑ実施による効果の事例





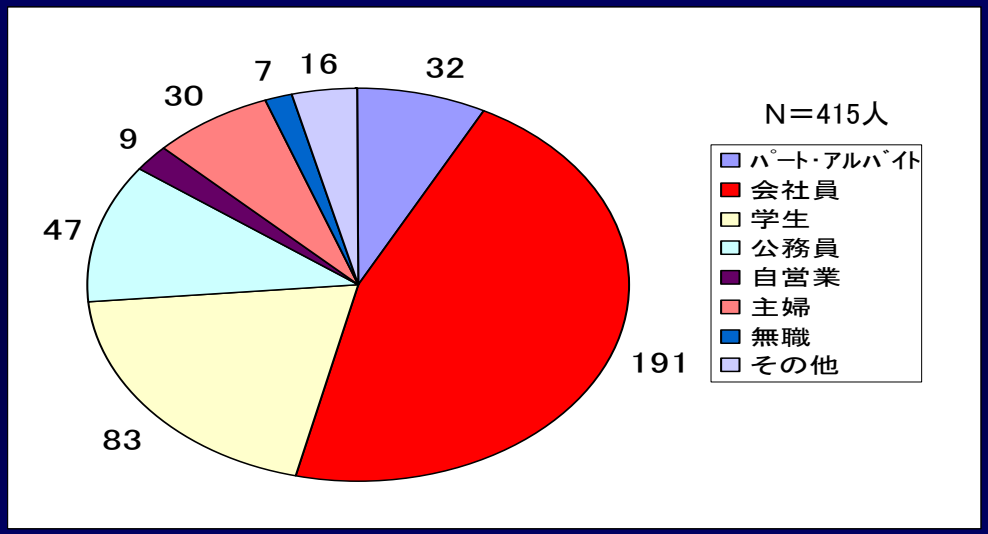
(2)「バスメールサービス」の普及状況

【普及状況(平成18年2月22日現在)】

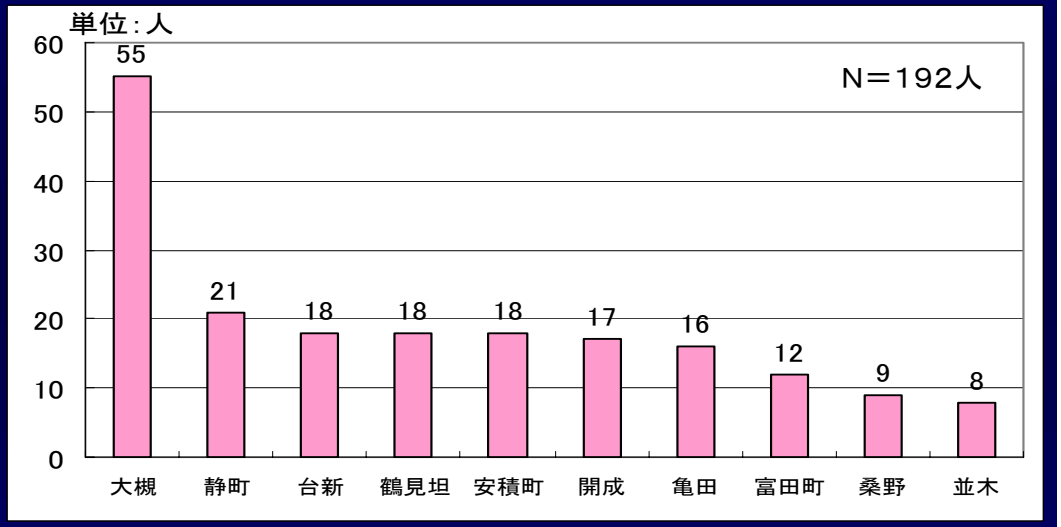
バスメール登録者数の内訳(平成18年2月22日9時現在)

性　別	19才以下	20才台	30才台	40才台	50才台	60才台	70才以上	合　計
男性	21	37	68	49	32	7	2	216
女性	55	55	66	32	10	5		223
合　計	76	92	134	81	42	12	2	439

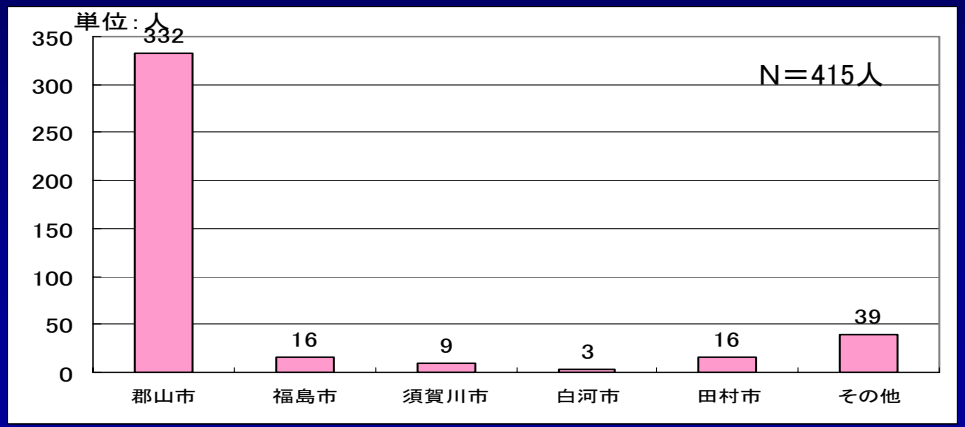
▲性別と年齢別の割合



▲職業別の割合



▲郡山市のエリア別使用者数(上位10地区)



▲住所別の割合



(3)『バスメールサービス』利用者からの声

【広報活動】

◆バスで通勤しているので、このサービスが私の乗っている路線で使えるようになると大変助かります。こういうの、あったらいいなと思ってました。是非ともこのサービスを全線使えるようにして頂きたいです。
（平成18年2月3日　女性）

◆せっかくいいシステムなので何とか使いやすいようにしてほしい。
（平成18年2月2日　女性）

◆到着時刻のメールサービス、大変良い試みだと思います。是非成功させて下さい。
（平成18年2月8日　女性）

（4）今後について

【まとめ】

◆現在、『バスメールサービス』は平成１８年３月３１日までの期間で実施中であり、今後も利用者の増加が予想される。

◆今後は利用者の実態を把握する利用者数調査や自動車から公共交通への交通手段の変更や意向についてアンケート調査（３月上旬）を実施する。

◆本サービスは、郡山中心市街地活性化の支援を目的とした「郡山都心交通マネジメント検討会」の中で社会実験を提案したものであり、調査結果や問題課題について分析を行い本検討会で議論する予定である。

◆郡山市内すべてのバス路線で実施できることにより、よりバスの利便性を高め、中心市街地の交通混雑緩和が図られ、郡山都心でのＴＤＭ施策の取り組みとして成功が期待される。